

きのこグループ活動報告

小山 明人*

1 はじめに

きのこグループの目的は諏訪地方のキノコ相の解明と、併せて食毒だけではない科学的なキノコの理解と普及を目的としている。

諏訪地方のキノコ相調査は明治末期の川村(Kawamura,1954)を始めとして、その後、大谷(Otani et al.,1991)、吹春(Fukiharu et al.,2005)、種山(Gelardi et al.,2015)、茅野市八ヶ岳総合博物館きのこグループによる紀要第24号,2016、紀要第25号,2017、糟谷他(Kasuya et al.,2016)において、現在、15科20属34種となっている。

2 平成29年度の活動

グループは発足して5年目となり今年度参加者20名で活動を行った。昨年度同様午前は野外での観察、午後は博物館で顕微鏡的観察や標本作製、一部DNAを採取した。

野外観察は吉田山にて5回実施し季節ごとの変化を理解した。9月は茅野市駅のベルビアにてきのこ展を開催し2日間で190人の来場者があった。また、長野県内のキノコを理解するため、10月に飯山市鍋倉高原にて有志による宿泊合宿を行った。

今年度の標本は、鍋倉高原ブナ林のツキヨタケ、ブナシメジ、ブナハリタケ、ナメコなどを含む203点を作成し、合計436点となった。

3 活動の詳細

第1回 4月15日 茅野市 運動公園

季節的にキノコの発生が遅れているため茅野市運動公園で実施した。コガサタケ属の一種を観察した。午後は博物館において採集品の顕微鏡観察を行った。3点を標本とした。

第2回 5月20日 茅野市 尖石青少年の森

アミガサタケやハルシメジ類、ツバマツオウジなど春特有のキノコを含む8種を観察した。午後は博物館において顕微鏡観察、7点を標本とした。

第3回 6月17日 茅野市 吉田山

今年度第1回調査を行い5種を観察した。午後は博物館において顕微鏡観察と記録を行った。5点を標本とした。

第4回 7月15日 茅野市 吉田山

麦草峠で行う予定だったが、白駒池周辺の渋滞により急きよ吉田山に変更した。キヒダタケやヒメスギタケなど8種を観察した。午後は博物館において顕微鏡観察と記録を行った。8点を標本とした。

第5回 8月24日 茅野市 麦草峠

亜高山帯針葉樹林での観察会。ヤマドリタケやゴヨウイグチ、フサクギタケなど多くのキノコを観察できた。午後はグループ員の別荘で同定、36点を標本とした。

第6回 8月27日 茅野市 吉田山

市民公開観察会、第3回調査。一般参加者8名。ハイカグラテングタケやタマアセタケなど珍しいキノコを観察した。午後は博物館において顕微鏡観察と記録を行った。23点を標本とした。

第7回 9月16日 茅野市 吉田山

第4回調査。翌日のきのこ展に備えて標本を採集した。午後は博物館において同定と準備を行った。

第8回 9月17,18日 茅野駅 ベルビア

茅野駅ベルビアにてきのこ展。写真パネル25点、キノコは161種となった。適宜展示解説を行った。持ち込まれたきのこの同定希望者は15名だった。2日間の来場者は190人だった。

第9回 10月7-9日 飯山市鍋倉高原茶屋池周辺

今年度から諏訪地方のキノコ相を理解するため長野県下においても調査することとした。今年度は北信のブナ林で有名な鍋倉高原において2泊3日で行った。ツキヨタケ、ブナシメジ、ブナハリタケ、ナメコなどブナ林固有種を含む71点を観察し、標本とした。日程にゆとりがあることからじっくりと観察できた。

第10回 11月12日 茅野市 吉田山

第5回調査を行った。キヌメリガサなど20種を観察した。午後は博物館において同定、20点を標本とした。

第11回 12月16日 茅野市八ヶ岳総合博物館

4月からのまとめとして各人が1人5-10分の時間の中で発表。12人だったので午後までかかった。ひかるキノコやイチヤクソウと菌根関係にあるキノコ、諏訪地方で観察し印象に残ったものなど個人の興味がわかり面白かった。

第12回 1月20日 茅野市八ヶ岳総合博物館

午前は紀要原稿の作成としてツガマイタケの外国語文献を翻訳し採集記録と対比検討した。併せて標本写真から線画を作成した。午後はキノコの胞子の形態について講義を行い、残り時間で活動発表展の打ち合わせと役割分担を決めた。

第13回 2月17日 茅野市八ヶ岳総合博物館

午前はキノコの展示パネルを再検討した。午後は茅野市八ヶ岳総合博物館紀要の原稿校正を

行った。

- 第 14 回 3 月 3 日 茅野市八ヶ岳総合博物館
昨年度の気になるキノコ、新年度の記録目標。
第 15 回 3 月 18 日 茅野市八ヶ岳総合博物館
活動発表展 3 年間の成果発表を行った。



4 来年度の活動

7 年目にあたることから以下を計画した。

- ① 調査は野外での生態等の写真撮影、採集、マクロ・ミクロの記録、標本作成、場合により DNA 採取を行う。
- ② 諏訪地方のキノコ相を理解するため、長野県の他地域での観察を行う。
- ③ 記録様式は神奈川県立生命の星・地球博物館の入生 田菌類資料に準拠する。
- ④ 展示に適切な標本は大阪市立自然史博物館に引き続き協力を仰ぎ、真空凍結乾燥標本とする。
- ⑤ 標本は原則茅野市八ヶ岳総合博物館に收藏する。
- ⑥ キノコ展は諏訪地方のキノコ食中毒予防巡回展期間に先立ち実施する。
- ⑦ 講演会を行う。
- ⑧ 市民研究員認定者を中心に諏訪地方の菌類活動に協力する。



きのこグループ

荒野 民雄	市川 浩久
井村 悦子	上原 裕雄
上原 妙子	牛山 雄二
川崎建次郎	小林 智子
齋藤 和春	齋藤 雅光
齋藤 智子	清水千代江
遠山 俊祐	富澤 愛子
中島 年雄	平林 良典
藤崎 弘子	藤森 政明
水沼 昇	山本 智子
※小山 明人	

